



会長 橋本八右衛門 青少年奉仕 正部家光彦
副会長 妻神 和憲 幹事 小田山紀暢
クラブ奉仕 石橋 信雄 会計 岡崎 孝文
会長エレクト 山村 和芳 会場監督 鶴飼 寿栄
職業奉仕 小井田和哉 直前会長 紺野 広
社会奉仕 深澤 隆 副幹事 中村 稔彦
国際奉仕 深澤 隆 会計補佐 浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一
同委員 松林 拓司 同委員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ！
～個人を磨くとクラブも輝く！再構築ロータリー～

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

12月 は 疾 病 予 防 と 治 療 月 間 です

第3334回例会

2024.11.27

会 長 要 件 橋本八右衛門 会長



ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」を脱出しました。次週はまた懐かしの“奉仕の理想”を歌うことになると思います。参加した皆さまは

「R-O-T-A-R-Y」を歌えたのでしょうか。わたしも惨敗だったと思います。変則的に週のあいた例会になりました。

その間にわれわれ総勢17名は3泊4日で基隆ロータリークラブと花蓮ロータリークラブを訪問して参りました。内容は年明けに改めて例会の中で濃く、面白い報告がたぶんあると思いますので、期待していただきたいと思います。めちゃめちゃ画像も集まっています。小田山幹事のテーブルの前に基隆ロータリークラブと花蓮の大学の状況を説明いただきました東花大学学長からの贈り物を飾っていますのでご覧ください。本当にうまくいった訪問だったと思います。小林姉妹クラブ委員長にはたいへん感謝申し上げます。

先週は盛大なIDMが行われ、橋本昭一さんのすばらしい演題「歴史と伝統 わたしの

人生劇場」と題したIDMを開催しました。本当に盛大で今までなかったIDMだったと思います。橋本さんご本人もなかなか熱が入って、ひじょうに詳しく、題目の通りの内容をわれわれも一生懸命勉強させていただきました。本当にありがとうございました。

本日はIDMの在り方ということで話をさせていただきます。その時ご挨拶の中いろいろ話されている方もいらっしゃいましたが、IDM (Informal Discussion Meeting) は、世代を問わず、少人数でロータリーのことをネタとして自由討論ができる会という形で、公式としてある。アメリカではFireside Meeting (炉端会合) という形態で広がっているということです。

本年度に入って最初にやったIDMは妻神さんに委員会の委員長に声をかけて開催していただきましたし、テーブルに声をかけても行いました。先週はテーマを決めた全体のIDMでした。ただ一番基本となるのはテーブルのIDMなのかなと思っています。あまり説明をされたことはありませんが、テーブルに立っている三角柱に“正”と“副”とあります。これは正はテーブルマスター、副は

サブマスターになりますが、そこに名前が入っていると思います。そして、この例会のテーブル配置は1年に4回、3か月に1回席替えがあります。要はテーブルの方たちと一生懸命コミュニケーションを取って、いろいろ盛り上げて欲しいという意味合いです。

クラブによっては単独のテーブルでテーブル会と称してIDMをやっているクラブもありますし、八戸では隣のテーブルに声をかけたり、Mテーブルに声をかけたりして複数でやっています。コロナの時に自由な出席になった会員もあり、食事の設定もあり、フリーな形でのテーブル配置、会員の並び方も一回休止になりましたが、今、また再度、席替えを含めてやっています。ぜひそのようなことを意識して、テーブルマスターの方はIDMを積極的に設定していただきたいと思っています。東京クラブですとひじょうにゲストなども多いそうで、そういうところはゲスト・ビジター・各テーブルに分散した方々のご紹介、アテンドなどをテーブルマスターがやっているそうです。

いずれにしても、名前が載っているというだけではなく、ご自分がテーブルマスター、サブマスターということを意識して、ぜひIDM、飲み会を積極的にやっていただければと思います。

幹事報告 小田山紀暢 幹事



• テーブルのパイナップルケーキは台湾のお土産です。今回行けなかった方も台湾の香りを楽しんでいただければと思います。

• 八戸警察署による詐欺防止講話のご案内について

2025年1月23日に八戸西クラブで行うそうです。講話のテーマは「ロマンス詐欺の防止対策 もうあなたは騙されない」

• 地区職業奉仕フォーラム開催について
2025年2月8日(土) 八戸パークホテル
「ロータリー活動の原点とも言える社会奉

仕をどのようにいかすか」をテーマに地区職業奉仕フォーラムを開催します。ご興味のある方はご参加ください。

- レターボックスにグランドホテルのちらしが入っています。
- 前年度のクラブ決算をお配りしました。来週年次総会がありますが、これは前年度決算と本年度中間決算報告の場ですので、前期の分にお目通しください。来週改めて会計より発表があります。

委員会報告

親睦・会場委員会 佐藤恒寛委員



○ニコニコボックスの報告

• 誕生祝 接待一雄さん

• 奥様誕生祝

正部家光彦・山田慶次さん

• 結婚記念日

正部家光彦・浜谷英幸さん

橋本八右衛門さん 基隆訪問、IDMお疲れ様でした。年末に向けがんばって参りましょう!!

小田山紀暢さん 道尻さん加藤さん卓話楽しみにしています。

上村奉樹さん 道尻さん卓話楽しみにしています。

夏川戸 齊さん 加藤さんファイト!

妻神和憲・小井田和哉さん ニコニコデー

国際大会ご案内 橋本八右衛門会長



オン ツー カルガリーについて、地区からカルガリー国際大会のツアーのご案内がきていました。こちらは6月下旬に向けての4泊6日でしたが、それだと当クラブの最終例会に当たりま

すし、基本費用はエコノミー利用で80万円なので、なかなか参加できないだろう。わたしは築館年度に行ったハンブルグ国際大会旅行がひじょうに楽しいものだったので、カルガリーにはあまり行く機会がないだろうということで勝手に目論んでおりました。

それで6月19日～24日の行程を考えて、わたしと小田山幹事は“行く”ということで決めています。2日くらいフリーはあって、国際大会の開会式、地区ナイト（地区主催の夕食会）に出て帰ってくるというシンプルなものですが。やはり個人手配の旅行でもだいたい50～60万円。さらに登録料は現在で525ドル、それ以降は625ドルになる。地区ナイト参加費は2万円です。たぶんあまり皆で行くという形にはならないと思いますが、行く方は募集をしていますので、行く方で相談して旅程を組み立てて、少数精鋭で参りたいと思っています。

オンツーカーガリーのお誘いということで、ここで言わせていただきました。

11/20 IDM報告 栗谷川敏彦さん



11月20日、グランドホテルにおいてIDMを開催しました。参加者は25名と多数参加していただき、本当にありがとうございました。この

IDMの目玉は橋本昭一さんの卓話でした。皆さまから感想を聞いたところ、たいへん勉強になった、ととても喜んでいましたので、また機会がありましたらよろしくお願いします。

今回は2月頃を予定していますので、よろしくお願いします。

インターアクト委員会担当例会



加藤範尚委員長

入会間もない方はインターアクトクラブ（IAC）はどんなクラブなのか、知らない方もいらっしゃると思いますし、わたし自身の勉強も兼ねて資料を作ってみました。

ロータリークラブのバッジとインターアクトクラブのマークを初めてみて、こんなマークがあるのかを思いました。これは学生の方が付けているのかと思い、次回会ったときに確認してみようと思っています。

インターアクトの設立：1962年米国で最初のクラブが設立され、日本においては1963年6月27日に宮城県仙台東ロータリークラブが提唱し、仙台育英学園高等学校で設立されたそうです。これが日本第1号のクラブとして当時100名あまりの構成人数で、世界最多の会員数を擁していたそうです。1日遅れで、翌28日に京都西ロータリークラブが京都市立西京高等学校（当時は京都市立西京商業高等学校）に作られました。

ロータリーは奉仕の精神を成年、しかもある程度成功した社会人に浸透させるよう努力しましたが、しかしそれでは遅すぎるということから活動の範囲を広げて12才～18才までの青少年または高校生のための奉仕クラブとして行っているそうです。日本においては高等学校、福祉ボランティアのクラブ活動もしくはサークルとして置かれることが一般的だそうですが、高校に属さない地域クラブとして活動しているクラブもあるということです。

インターアクトの目的は、奉仕と国際間の理解に貢献するため世界的親交をもって共に活動する機会を青年男女に与えることにある。インターアクトの目的を調べていくと、8つの目標があります。最初は7つだったのですが、調べていくうちに8つの目標ということでしたので、ご紹介します。

1. 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図ること。
2. 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること。
3. 家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること。
4. 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと。
5. 個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であると強調すること。
6. すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること。
7. 地域社会、国家および世界の問題について

での知識と理解を深める機会を提供すること

8. 国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また 団体として、進むべき道を切り開くこと。

この8つの目標を掲げて活動しています。インターアクトの現状はどうなのかを調べてみますと、インターアクトクラブのある国の数は145か国あるそうです。インターアクトクラブ数は14,911クラブ、インターアクター数は342,953人。インターアクトをホームページでみると現在の状況で数字が出てきます。

***八戸ロータリークラブが提唱しているインターアクトクラブについて：**

設立は昭和59年8月27日、クラブ名は八戸インターアクトクラブ、構成メンバーは八戸工業大学第二高等学校の学生。構成人数は1年生4名、2年生10名。こちらは前回工大二高にご挨拶にお伺いしたときに1年生と2年生の人数をお聞きしてきました。3年生はもう引退したそうですが、3年生が一番多かったそうで20名くらいいたそうですので、トータルで一時期は34名くらい会員がいたのかなと思います。ただ、インターアクトクラブだけに所属しているわけではなく、スポーツや他の部活と兼務している方が多いようです。

例会日時は第1、第3火曜日 15:50~16:50

現在の主な取り組みは地域で活動している団体等からボランティアの要請などがあれば年に数回のボランティア活動をしています。

地区インターアクト事業として「アクトの翼」。地区青少年育成事業の1つとして地区内各高校のインターアクトクラブの会員を海外に派遣。現地でのホームステイや現地高校生との交流により視野を広げてもらい、その後の活躍への糧としてもらうことを目的として実施している。本年度の日程は令和6年12月25日~30日の5泊6日を予定し、訪問地は

台湾国、台北市ならびに周辺を訪問。行程は訪問地の各家庭でホームステイをさせていただき、現地の高中生との交流や訪問各所の視察研修を行う。八戸インターアクトクラブからは本年1名の参加を予定しています。参加していただく方からのその後の報告などは3月の例会で発表予定です。ぜひ聞いていただければと思います。

八戸インターアクトクラブにはクリスマス例会にも毎年お声がけをしていますので、本年もクリスマス例会にお声がけをさせていただこうと考えています。

地区インターアクト年次大会の開催日は2025年5月24日の開催です。会場は弘前学院聖愛中学高等学校、開催クラブは弘前ロータリークラブ、提唱クラブは弘前学院聖愛高校インターアクトクラブ。各校のインターアクトクラブメンバーが一堂に会し、それぞれの活動についての情報交換をして、共同作業を進めることによって友情を親睦を深めることを目的とした、メンバーにとってひじょうに有意義な事業です。地区インターアクト年次大会は行ったことがなかったので、ぜひ機会をみて、来年は行って見ようと思っています。

アクトの翼は費用の負担が結構あります。インターアクター（生徒さん）は約120,000円程度、引率教師は160,000円、ロータリアンは290,000円。想定派遣人数はインターアクター20名程度、引率教師・ロータリアンは10名程度を想定。この時期の台湾は行けないと思いながら見ていました。もし行ってみたい方がいれば行ってみてはいかがでしょうかと思います。

地区インターアクト年次大会はメンバーの皆さんに対してのご案内は現在まだ来ていないと思いますが、地区インターアクト委員会からは7月に案内が来ていましたので、わたしも参加しようと思っていますので、もし機会があれば一緒に行っていただければと思います。



「いつも心は新会員」

道尻 誠助 さん



元新会員の道尻です。どうぞよろしく申し上げます。今朝、プログラム委員長の上村さんから基隆の報告会があるので、きょうの卓話はありませんという夢を見まして、喜んできたのですが……。上村さんから卓話のお話をいただきました。話して欲しいことと、話さないほうがいいこと、話してはダメなことをプリントアウトしてくれました。上村さんのユーモアの利いた対応にロータリー精神を感じていました。本日は貴重な時間をいただきまして本当にありがとうございます。

わたしは2003年の入会です。その後、推薦してくれた種市良意先生にお世話になり、4月16日にさせていただくことができ、本当に感謝しておりました。が、わたし自身、三戸から職場を八戸に移して、標準語が使えなかったのが、何か例会に出るのがひじょうに心苦しくなって休んで、出て、休んでの状態が続きましたが、夜例会だけは意外と出て、何とかつないできた感じでした。

その時も同じく、歴史と伝統と格式のある八戸ロータリークラブに入会させていただきましたありがとうございます。という挨拶までは知っていますが、その後のことはちょっと緊張のあまり忘れてしまいました。当時は80数名の会員いらっしゃって、テーブルも3つくらい多かったような気がして、立ったときにも圧倒されて、そういう雰囲気の入会式だったことは覚えています。

そんなこんなで自己紹介をさせていただきます。職業分類は薬剤師です。八戸に来るまでは八戸から30kmくらい東京寄りの三戸町でずっと仕事をしておりました。その町から約8km山奥に入った村の出身で、農家の長男として生まれました。三戸は漫画家で絵本作家の馬場のぼる先生の出身地で今、けっこう売り出しています。八戸にもこういうバスがたぶん来ていると思います。あとは復元された

ものですが三戸城。この2つが有名です。町の至る所に「11匹のネコ」のネコの石像が11体あります。もし時間があれば遊びに来ていただければと思います。

高いところから見た町の風景ですが、川が1本あって、その両サイドに町が。一番奥に鉄塔があって、そこが城山公園。山城の跡です。ですから当時とすれば敵から守るための城みたいな感じのたたずまいが今もあります。

馬場のぼる先生はネコが一番思い出されますが、実は犬も馬もひじょうにアットホームな可愛い絵を描きます。馬の絵を出したのは、うちは農家でしたので田んぼとりんごと葉タバコを耕作していました。トラクターが入る前までは馬は農耕馬としてわれわれと一緒に家族同然で働いてくれた馬でしたので、うちもそうでしたが、家の中に馬の部屋（馬屋）があり、その中に一緒に住んでいました。ですからわたしは馬刺しやサクラ鍋は食べない。そんなウマイ話ではなく、これは本当の話です。馬場のぼる先生のお兄さんは獣医さんで、うちの馬も結構世話になりました。お兄さんはひじょうに馬に似た顔をしていましたので、われわれも小さいときには“ウマ”が来た。小学生のときに、馬の足が5本あると聞いたから、先生はそれは足じゃない。

この写真はその頃、2004年のクラブ年次報告書を見ますと、わたしの出席率は26.9%と書いてありました。これは妻神さんの読後会の写真です。10年くらいほとんど夜例会しか出ない状態の中で、妻神さん、佐々木泰宏さん、築館さん、渡辺さんがどうしてる？と声がけをしてくれて、それからまた出るようになった。ありがたい人たちとの触れ合いを感じる1枚の写真です。出ていない人の気持ちはけっこうわかります。1回出ないと次はと思って、またなんか出られなくなると何となく出られなくなる。その再出発をするために声をかけてくれる人がいたな。もしそれがなければたぶん自然消滅で、いなかったと思

ます。この場でお礼申し上げます。ありがとうございました。

「楽しい酒はあなたを健康に」今晚飲むお酒はどちらを選ぶか。情熱の酒 鶴か 恋心を知る 桃川か。できれば両方飲んでもらえれば今晚ひじょうに幸せな気分て明日の朝を迎えたいと思います。

わたし自身がロータリークラブに入って学んだことはたくさんあります。皆さんご存じのように同じ職業じゃない、他業種の中の集まりで、必ずその職場の中では社長であったり、リーダーであったりという人たちの集まりですので、皆さん個性もありますけれども、またそれぞれに存在感のある方ばかりです。特に飲み会などあれば、わたしは酒は飲めませんが、話を聞きながら自分のいろんな思いが、これは間違っていた、いやそうじゃない見方もあるんだというようなことをいろいろ学ばせていただきました。

最初は入会時のとんがった心でしたが、だんだん最近丸くなりつつあります。やはりこれも言葉で言ってくれる大先輩もいますし、黙っていて何かあったときに、こそっと後ろから言ってくださる方もいるし、真っ向から来る方もいます。すべてが今の自分にとってはなくてはならない存在だったと思っています。

特にわたしが幹事をやったときには鶴飼さんがブルドーザーのように進むタイプだったので、ひじょうに組織を動かすことを学んだし、わたしが会長のときはこれまたユニボが10個くらいの紺野さんでした。二人だけで内緒で会食、ホテルでご飯を食べたら、これはわたしの発想の中になかったですが、ご飯が足りなくなったらホテルの賄いに行って、自

分でご飯をもらって帰ってきた。その発想がひじょうに嬉しくて、これは人間離れしているなという感動を覚えました。きっとわたしのこれからの人生に生かせるかと思っています。そこで得たこと、何となくボヤッとした目標が出てきました。人生は緩やかに。強くもなく、弱くもなく、柳のように。というのがわたしが今20数年経って得た感覚です。もしロータリーに入っていなければ、たぶんとんがったまま、自分勝手なことをやっていたかと思いますが、いろんな人たちに角を削られて、見ながら学んで、自分がようやく楽しめるなという感じも得てきました。

けっこうおんぶに抱っこするタイプで、65周年のときは妻神先生にすべてをお任せして、楽をした記憶があります。そういう頼れる人がいるということも大事なことかな。何でもやれるじゃないけれど、頼んでくれればやってくれる人がいるという、自分自身が温かい環境の中にいるのがひじょうにハッピーな気持ちでした。みんないい人。お互いにきょう会えたことがすごいなと思って。もし昨日死んでいればきょうは無かった。また馬に生まれたり、牛に生まれていればきょうのテーブルの上に居たかもしれないし。きょう会える喜びを感じてこれからも頑張っていきますので、よろしくお祈りします。



出席報告					出席委員会						
第3334回例会（11月27日）			第3332回例会（10月30日）								
出席率		63.5%	出席率		57.8%	修正出席率	64.1%				
総会員数		65名	出席数		40名	総会員数		65名	メイクアップした人数	4名	
出席義務会員	63名	出席免除会員	2名	欠席数	23名	出席義務会員	64名	出席免除会員	1名	欠席数	23名